

本時のねらい

自分がなりたい仕事について情報収集してきたものを、Google スライドに分かりやすくまとめる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・将来なりたい仕事を調べ、その集大成として Google スライドにまとめる。
- ・スライドを共有しているため、友だちのレイアウトや加工の仕方その場で聞くことができる。
- ・スライドを作りながらローマ字入力をするので、ローマ字の定着を図ることができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ 大型モニター ・タブレット PC
- ・ Google クラスルーム ・Google スライド

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○今まで調べてきたことを記録したノートを確認する。 ○今日のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">めあて しょう来の仕事をしようかいしよう</div> <ul style="list-style-type: none"> ○Google クラスルームを経由してスライドを共有する。 ○参考例を紹介する。 ・キャッチコピー、写真、仕事の紹介、就きたい理由をスライドに入れる。(共通事項) 	<ul style="list-style-type: none"> ・廊下を通った他の児童の興味を引くようなパツと見て分かりやすいということを念頭に考え、スライドを作る。 ・色やレイアウトなどを何度も試行錯誤することができる。
展開 (20分)	<ul style="list-style-type: none"> ○スライドを作っていく。 ○友達のスライドを見て、良い点を見つけ交流する。 ・知りたいことは自分で聞きに行く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ローマ字習熟のため、ローマ字入力をする。 ・スライドを共有しているため、クラスの友達のレイアウトや作り方をみて、参考にすることができる。 ・興味を引く写真を使ったり、背景と文字の色の組み合わせを見やすくしたりするなど、分かりやすさや伝わりやすさを求めていくようにする。
まとめ (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ○交流したことから自分のスライドに手直しをしたり、書き加えたりする。 	

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



参考例を大型モニターに映し、スライドに入れ共通事項を確認している場面



友達のスライドの良い点を見つけ、自分のタブレットで教えてもらっている場面



背景や文字の色を変え、キャッチコピーをついている場面

児童生徒の反応や変容

- ・何枚もある写真の中から、自分の将来の姿をイメージして、こだわりをもって写真を選んでいった。
- ・ローマ字入力の習熟を図ることができた。中には、タイピング練習を重ねて、すらすら入力できるようになった。
- ・全員で友達のスライドを見る時間を取り、「ラーメンおいしそう」「漢字が分からんから読めない」というつぶやきから、自分のスライドはどうだろうと振り返ることができていた。色の組み合わせで伝わりやすさが変わることが分かり、スライド全体が見えるようにタブレットを離して、客観的に確認する児童の姿があった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・廊下を通った他の児童の興味を引くようなスライドを作ることを目標にしたことで、タブレットを離して見やすいかを確認して、字の大きさや色を何度も試行錯誤することができた。
- ・キャッチコピーやなりたい理由を打ち込んでいく過程で、タイピングしながらローマ字の習熟を図ることができた。